

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月26日

事業所名 仙台市立町たんぼぼホーム

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 新型コロナウイルス感染症感染拡大の予防のため、1クラスの人数を7名程度にしている。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | 個別に対応する職員、全体に入る職員等、日々の療育に合わせ考慮している。 | 他ホームや関係機関との連携を取りながらニーズに応じて専門職の協力をもらう。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | ・朝の支度ではパーテーションを利用し、分かりやすく提示してきた。 ・一日の活動の流れを分かりやすく写真を用いて示している。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 今年度は新型コロナウイルス感染症もあったため、さらに衛生面に気を付けた | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | ・アンケートの結果をもとに職員間で検討し改善につなげている。 ・保護者が見ることができる場所に結果と改善点を掲示している。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | ・外部の研修にも参加した。園内研修を実施している。 ・リモートやDVDでの研修など、コロナ対策を行いながら実施した。 | 各職員が必要な研修を受けられるよう今後も内容や時間帯等を検討していく。参加できなかった場合には、研修資料や記録を供覧し、周知する。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・個別面談、ミーティング等の時間から保護者の思い等を確認している。 ・支援会議を行い、保護者からのニーズをすくい上げて作成している。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 個々に合わせた支援内容を具体的に記載している。 | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | ・活動後の反省で日々の療育を見直し、職員間で連携して支援にあたっている。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | ・繰り返しの活動も大事にしつつ、活動の内容を変化させて、ステップアップする内容も取り入れている。 ・子どもの様子に合わせて、体操、設定活動など、新しいもの、変化のあるものを取り入れている。 ・月ごとに活動プログラムを見直し、日々工夫した内容を提示している。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | ・日々のスケジュールボードに役割分担を書き、いつでも確認できるようにしている。 ・分離活動の児を担当する職員、きょうだい児対応など確認している。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|--|-------------------------------------|
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの支援同様、保護者の表情、心情など細かく伝え合い、状況を共有してきた。 ・日々の記録や打ち合わせのノートを活用し、情報を共有している。 ・毎回打ち合わせを行い、個々の状態の把握や療育の質の向上に努めた。 | | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス日誌やケース記録の記入をしている。 ・保護者の様子や聞き取った事も記録している。 | | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 3～6か月で個別支援計画を見直し、作成している。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 地域相談員を中心に各関係機関と連携を図っている。 | | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | 該当者なし | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | | 該当者なし | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 卒園児の引き継ぎに移行支援シートを利用し情報を共有している。 | |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | | 該当者なし | |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | ・ミーティングの時間を利用し、振り返りを行い、共通理解を図っている。 | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | | 各家庭に向け、ペアレントトレーニングを実施している。 | |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | | |
| | ㉛ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | | |
| | ㉜ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 保護者の様子に気を配り、必要に応じて個別で話をする機会を作っている。 | 相談内容により、個人情報に配慮しながら他の関係機関との連携をしていく。 |
| | ㉝ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | いつでも相談に応じられるように、個別に声をかけたり面談を行ったりして、継続した支援を行っている。 | |
| | ㉞ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | | |
| | ㉟ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|---|
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | | 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で例年に比べ近隣の関係施設との連携が少なかった。今後は関係機関職員との連携を図り、児童発達支援センターとして広報の仕方を工夫し地域の方に施設を知ってもらう。 |
| 非常時等の対応 | ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | ・園内研修を行い、職員間での対応の確認を行っている。 | |
| | ④⑫ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | ・月1回、様々な災害を想定して行っている ・避難訓練時、単独通園児の保護者に電話するなど、実際に起こった時同様の動きを確認している。 | |
| | ④⑬ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 入園時に子供の様子を書類で提出してもらい確認している。また、随時、変更があれば保護者から知らせてもらっている。 | 職員会議などで子供の状況を共有するとともに、入園児の書類の見直しを定期的に行う。 |
| | ④⑭ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 園内研修を実施し、周知している。 | |

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

